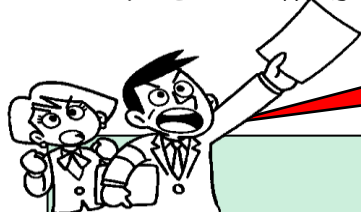


申20号

旅行商品造成業務の一元化とダイナミックパッケージに関する申し入れ

3月10日、「旅行商品造成業務の一元化とダイナミックパッケージに関する申し入れ」（申20号）を提出しました。

「旅行業の今後の方向性に関する解明申し入れ」交渉（2月25日開催）で明らかになった「旅行商品造成業務の一元化」と「ダイナミックパッケージ」について、職場からの声を提出しました。解明交渉で会社の考えが明らかになりましたが、さらに職場から運動をまき起こし、要求実現に向け奮闘しよう！！



旅行業の将来は私たちが創りだすぞ!!

《申し入れ項目》全12項目要旨

- ・ 商品造成業務の一元化に向けた全体スケジュールを明らかにすること。また施策実施に関する確認メモに則り、個別スケジュールについては、地本・支社間において認識を深めた上で実施すること。
- ・ 商品造成業務を行う組合員のサービス超勤を撲滅させること。また、商品造成に伴う業務知識の向上と、観光立国を目指した体制を確立すること。
- ・ 駅、びゅうプラザの顧客意見を各支社が把握できる仕組みを構築すること。
- ・ 着地仕入・観光開発を行うJR東日本各支社担当の体制を増員すること。
- ・ 商品造成業務一元化に伴い異動や出向が発生する場合は、本人の希望を尊重して行うこと。また、若年出向が発生する場合については、グループ会社の指導・育成を目的とし、出向期間は原則3年とすること。
- ・ ダイナミックパッケージは、JR東日本エリア内の観光流動を第一の目的に据え運営すること。また、他社ダイナミックパッケージとの競合による、過度な価格競争は行わないこと。
- ・ ダイナミックパッケージ、えきねっと、大人の休日倶楽部でJR券を購入する場合の割引率の整合性をはかること。また、ダイナミックパッケージ商品のJR券に対するイールド管理方法を明らかにすること。
- ・ 旅行商品造成業務の一元化やダイナミックパッケージの稼動は、JR東日本の旅行業の将来を左右する大きな施策であることから、施策実施後に問題等が発生した場合は、JR本体で業務運営するなど見直しをおこなうこと。

働きがいのある職場を旅行業職場を創りだそう!!